

テーマ

五感を育む

0歳児の発達において見る、聞く、嗅ぐ、触る、食べるの五感が刺激されることで体の育ちや発語に繋がっていきます。子どもたちが自ら五感に働きかけられるような活動や環境設定に着目して取り組みました。

カラーポリ袋に乗ってみよう

カラーポリ袋に空気を入れて、乗って遊びました。「ゆらゆら」の揺れに自然と笑顔も見られました。一人の子が遊ぶと「自分も自分も」と集まる子どもたち。特定の色を好んだり、空気が出る音を聞いたり、匂いを嗅いだりと五感を育む活動が出来ました。



カラーポリ袋に触れよう

カラーポリ袋を用意すると期待の目を向けて集まりました。自分から触りに行く子、ガサガサと音を出して遊ぶ子、興味をもって触れていました。



袋を使って「ばあ」といえないいないばあ遊びもしました。保育者、友だちと笑い合っって楽しむ様子も見られました。

振り返り

新しいものを子どもたちに提供する場合、保育者が安心できる存在であることが大切だと思いました。保育者との関係を軸に普段は触れない感触にも手を伸ばし、子どもなりに様々なアプローチのもとで遊び方を発見する子が見られました。また、初めてのことや慣れないことが苦手な子には無理強せず、定期的に活動に取り組むことで楽しそうな雰囲気を感じてどんどん遊びに近づき最終的には主体的に楽しみ笑顔も見られました。乳児にとって繰り返し行うことと少しの発展が大事だとこの期間で感じました。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん